

平成17年9月9日  
原子力安全対策課  
(17-52)  
<16時00分記者発表>

## 敦賀発電所1号機出力降下について (原子炉給水ポンプC補助油ポンプの点検)

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

### 記

敦賀発電所1号機（沸騰水型軽水炉；定格電気出力35.7万kW）は、定格熱出力一定運転中のところ、平成17年9月8日16時25分に、運転中の原子炉給水ポンプ\*Aのメカニカルシール部付近からの漏えいを確認したことから、当該部の点検を行うため、16時36分に待機状態にあった原子炉給水ポンプCを起動した後、16時40分に原子炉給水ポンプAを停止した。

その後、同日17時頃、起動した原子炉給水ポンプCの補助油ポンプのメカニカルシール部から、潤滑油の漏えい（約55 cc/分）が確認された。

同油ポンプは原子炉給水ポンプが待機中に各軸受に潤滑油を供給するため運転されているポンプで、原子炉給水ポンプ運転中は停止している。今回の潤滑油の漏えいは、原子炉給水ポンプCの運転に直ちに影響を与えるものではないが、同油ポンプの点検・修理を行うためには、原子炉給水ポンプCを停止する必要があることから、本日16時30分頃より出力降下を開始し、出力約50%の状態とした上で同油ポンプの点検・修理を行う予定である。

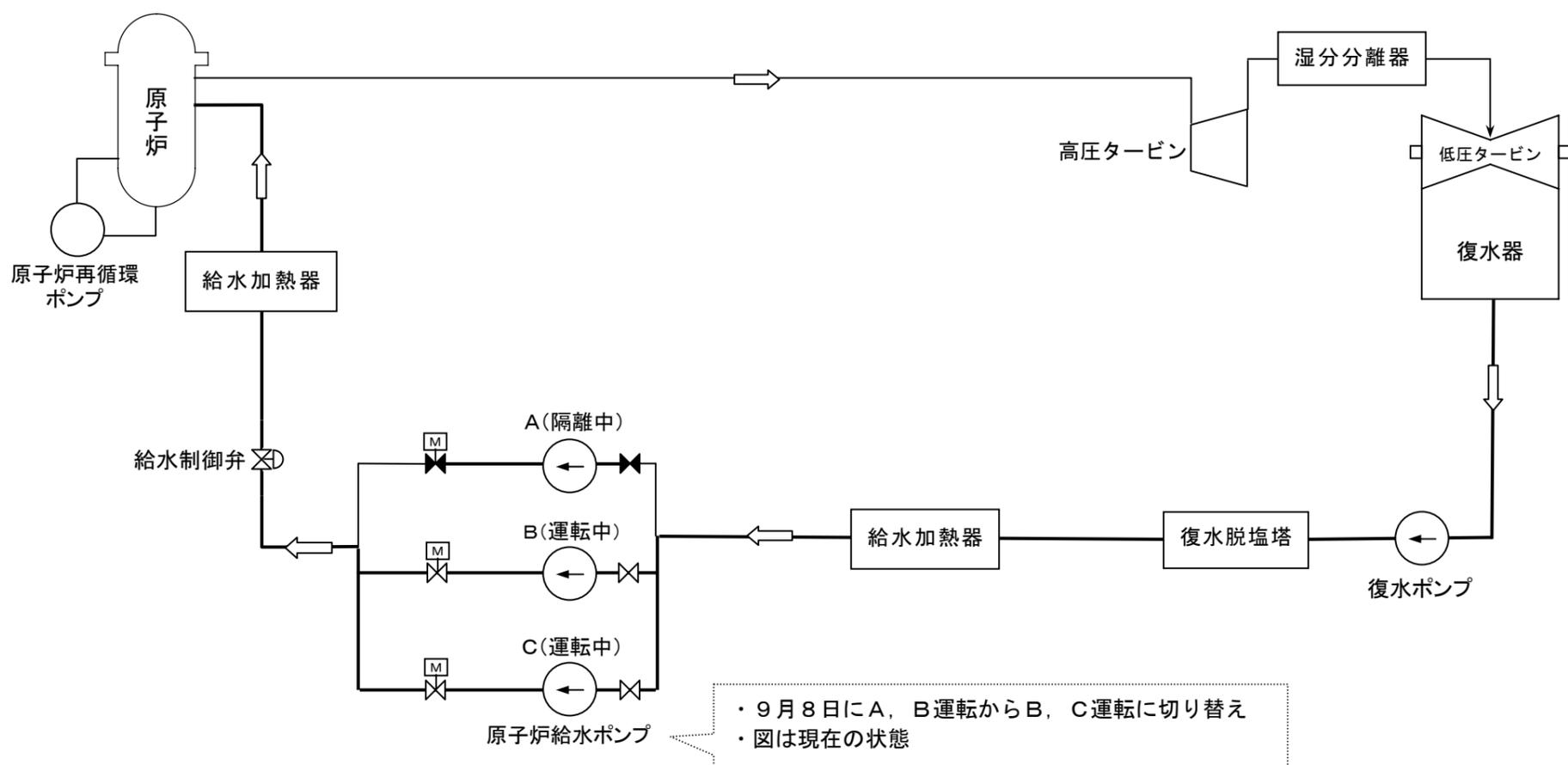
なお、今回のポンプの切り替え時に、一時的にポンプが3台運転状態となり、原子炉への給水流量が増加したため原子炉熱出力がわずかに上昇（1057 MW→1075 MW）しているが、その変化は瞬時であり、原子炉の安全性への影響はなかった。

今回の事象による環境への放射能の影響はない。

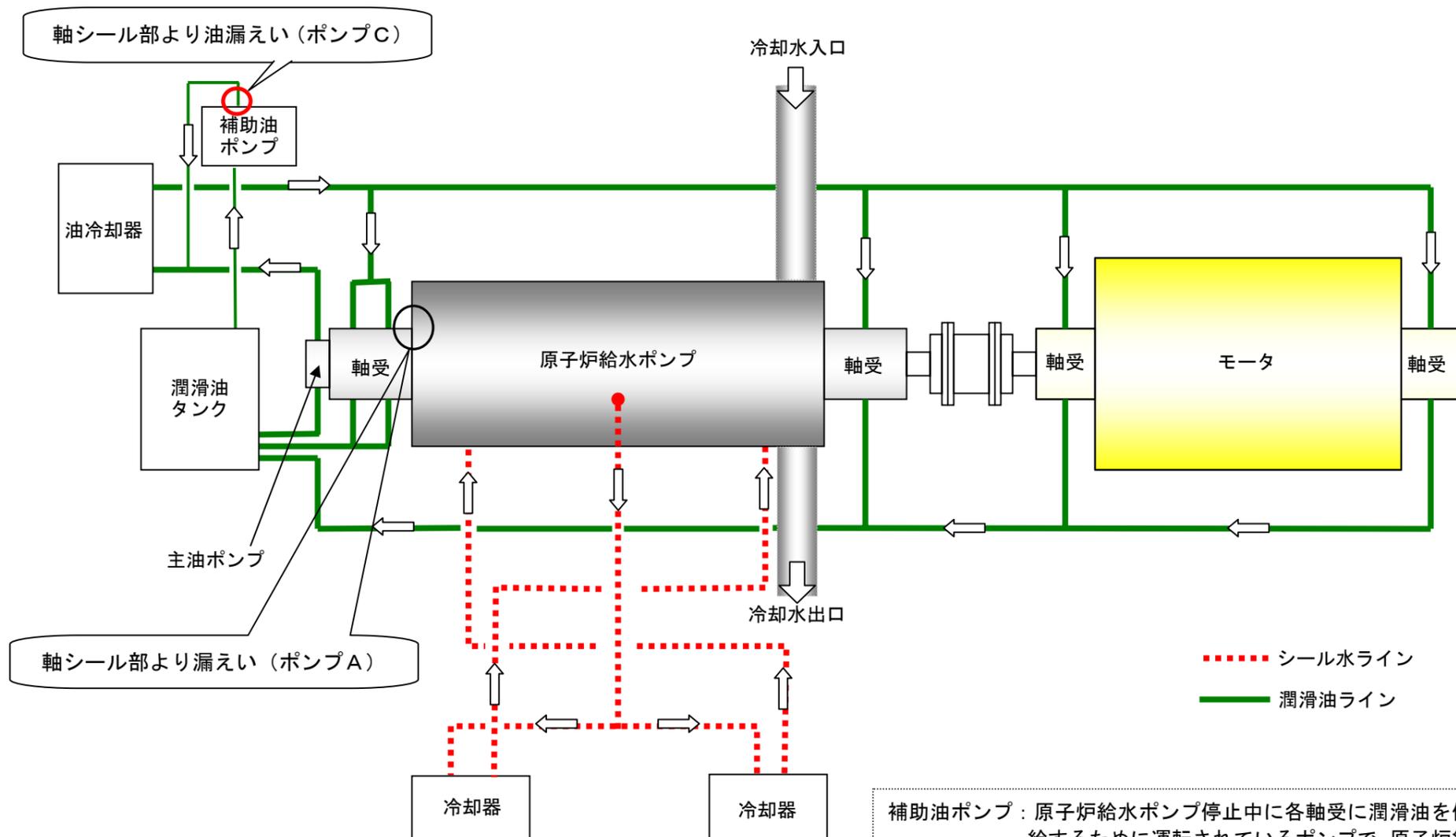
\* 原子炉給水ポンプ：原子炉への冷却水の供給を行うポンプで3台ある。運転中は2台が運転、1台が待機している。

問い合わせ先(担当：三木)  
内線2352・直通0776(20)0314

# 原子炉給水ポンプ系統概要図



# 原子炉給水ポンプ潤滑油等系統図



補助油ポンプ：原子炉給水ポンプ停止中に各軸受に潤滑油を供給するために運転されているポンプで、原子炉給水ポンプ運転中は、原子炉給水ポンプ直結の主油ポンプにより潤滑油が供給されるため、補助油ポンプは停止している。

シール水：高温(約140℃)の原子炉給水ポンプ出口水の一部を軸シール部保護のために、約50℃に冷却し、軸シール部に注入する水。